

氏名	金村 尚彦	部署	大学院 理学療法学科	職名	教授
研究分野	基礎理学療法学, 運動器理学療法学				
学位	博士 (保健学)				
学歴	広島大学大学院医学系研究科				
経歴	平成20年4月 埼玉県立大学 講師 平成24年 同大学准教授 平成28年 同大学 教授 平成31年 同大学 大学院研究科長				
所属学会 (役職)	日本理学療法士協会、米国神経科学学会、米国整形基礎学会、運動器理学療法学会 (監事)、基礎理学療法学会 (評議員)、軟骨代謝学会、専門リハビリテーション研究会 (理事)、(公社) 埼玉県理学療法士会 (学会評議委員会)、日本整形内科学会 (理事)				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Effects of exercise on muscle reinnervation and plasticity of spinal circuits in rat sciatic nerve crush injury models with different numbers of crushes	共著	あり	○	Muscle & Nerve 65(5) 612-620	Yuki Minegishi, Junji Nishimoto, Minori Uto, Kaichi Ozone, Yuichiro Oka, Takanori Kokubun, Kenji Murata, Hidenori Takemoto, <u>Naohiko Kanemura</u>	2022.5
2	EEG Oscillations in Specific Frequency Bands Are Differently Coupled with Angular Joint Angle Kinematics during Rhythmic Passive Elbow Movement	共著	あり	○	Brain Sciences 12(5) 647-647	Takako Suzuki, Makoto Suzuki, Kilchoon Cho, Naoki Iso, Takuhiro Okabe, Toyohiro Hamaguchi, Junichi Yamamoto, <u>Naohiko Kanemura</u>	2022.5
3	Eccentric contraction - dominant exercise leads to molecular biological changes in enthesis and enthesopathy - like morphological changes	共著	あり	○	Journal of Orthopaedic Research doi: 10.1002/jor.25399. Epub	Ozone, Kaichi; Kokubun, Takanori; Takahata, Kei; Takahashi, Haruna; Yoneno, Moe; Oka, Yuichiro; Minegishi, Yuki; Arakawa, Kohei; Kano, Takuma; Murata, Kenji; <u>Naohiko Kanemura</u>	2022.6
4	Novel Multi-Segment Foot Model Incorporating Plantar Aponeurosis for Detailed Kinematic and Kinetic Analyses of the Foot With Application to Gait Studies	共著	あり	○	Frontiers in Bioengineering and Biotechnology doi: 10.3389/fbioe.2022.894731. eCollection 2022.	Yuka Matsumoto, Naomichi Ogihara, Hiroki Hanawa, Takanori Kokubun, <u>Naohiko Kanemura</u>	2022.6
5	The investigation of an analysis method for co-activation of knee osteoarthritis utilizing normalization of peak dynamic method.	共著	あり	○	IEEE Access 11 1-1	Keisuke Hirata, Kotaro Yamagishi, Hiroki Hanawa, Taku Miyazawa, <u>Naohiko Kanemura</u> , Kojiro Iizuka	2023.01
6	Determination of relationship between foot arch, hindfoot, and hallux motion using Oxford foot model: Comparison between walking and running	共著	共著	○	Gait & Posture,101,48-54	Keisuke Kubota, Moeka Yokoyama, Katsuya Onitsuka, <u>Naohiko Kanemura</u>	2023.01
7	Ankle instability as a prognostic factor associated with the recurrence of ankle sprain: A systematic review	共著	共著	○	The Foot 54 101963-101963	Sora Kawabata, Kenji Murata, Hirotaka Iijima, Kouki Nakao, Riku Kawabata, Hidenobu Terada, Takuma Kojima, Chiharu Takasu, Takuma Kano, <u>Naohiko Kanemura</u>	2023.01

8	Exploring the modification factors of exercise therapy on biomechanical load in patients with knee osteoarthritis: a systematic review and meta-analysis.	共著	共著	○	Clinical rheumatology DOI: 10.1007/s10067-023-06553-4	Moeka Yokoyama, Hirotaka Iijima, Keisuke Kubota, <u>Naohiko Kanemura</u>	2023.03
9	The Effects of Downhill Running and Maturation on Histological and Morphological Properties of Tendon and Enthesis in Mice.	共著	共著	○	Biology 12(3) DOI: 10.3390/biology12030456	Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuichiro Oka, Michiaki Sato, <u>Naohiko Kanemura</u>	2023.03
10	運動習性が導く軟骨変性の予防 (総説)	共著	共著	○	Medical Science Digest(1347-4340)48巻11号 Page539-541	村田 健児, <u>金村 尚彦</u> , 川端 空, 小島 拓真	2022.10

(3) 学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	健常若年者のドロップジャンプ動作における足部ダイナミクスの性差	共著	第10回日本運動器理学療法学会. 運動器理学療法学会(2436-8075)2巻Suppl. Page O-45 Web開催	松本 優佳, 荻原 直道, 国分 貴徳, 小管 倅子, 埜 大樹, <u>金村 尚彦</u>	2022.10
2	足関節捻挫後の足部不安定性と捻挫再発率との関係 システマティック・レビューによる調査	共著	第10回日本運動器理学療法学会. 運動器理学療法学会(2436-8075)2巻Suppl. Page O-47 Web開催	川端 空, 中尾 幸暉, 寺田 秀伸, 小島 拓真, 高須 千晴, 榊田 拓真, 加納 拓馬, <u>金村 尚彦</u> , 村田 健児	2022.10
3	筋-腱-Enthesis線維軟骨複合体の経時的形態変化と筋収縮タイプの関連性	共著	第10回日本運動器理学療法学会. 運動器理学療法学会(2436-8075)2巻Suppl. Page O-88, Web開催	小曾根 海知), 国分 貴徳, 岡 優一郎, 峯岸 雄基, 米野 萌恵, 高橋 花奈, 高島 啓, 荒川 航平, <u>金村 尚彦</u>	2022.10
4	健常若年者における日常生活を想定した方向転換動作の膝関節運動力学的ストレスの解明	共著	第10回日本運動器理学療法学会. 運動器理学療法学会(2436-8075)2巻Suppl. Page P-21 Web開催	川端 陸, 久保田 圭祐, 横山 萌香, 松本 優佳, 小菅 倅子, 須永 康代, <u>金村 尚彦</u>	2022.10
5	若年女性における着地時の体幹と膝関節運動の特徴	共著	第9回日本運動器理学療法学会. 運動器理学療法学会(2436-8075)2巻Suppl. Page P-105, Web開催	小菅 倅子, 須永 康代, 松本 優佳, 久保田 圭祐, 横山 萌香, 川端 陸, <u>金村 尚彦</u>	2022.10
6	高齢者の運動制御則の変化に基づく筋協調活動パターン	共著	第27回日本基礎理学療法学会, 大阪 基礎理学療法学会(2436-6382)25巻Suppl.1 Page5	岡 優一郎, 小曾根 海知, 峯岸 雄基, 加納 拓馬, 村田 健児, <u>金村 尚彦</u>	2022.10
7	筋芽細胞分化過程における性差がメカニカルストレス感受性に及ぼす変化	共著	第27回日本基礎理学療法学会, 大阪 基礎理学療法学会(2436-6382)25巻Suppl.1 Page5	村田 健児, 高須 千晴, 寺田 秀伸, 小島 拓真, 川端 空, 峯岸 雄基, 加納 拓馬, 岡 優一郎, 小曾根 海知, <u>金村 尚彦</u>	2022.10
8	膝蓋下脂肪体との共培養が前十字靭帯由来線維芽細胞の靭帯治癒関連指標に及ぼす影響	共著	第27回日本基礎理学療法学会, 大阪 基礎理学療法学会(2436-6382)25巻Suppl.1 Page5	寺田 秀伸, 小島 拓真, 高須 千晴, 川端 空, 森下 佑里, 峯岸 雄基, 加納 拓馬, 高柳 清美, <u>金村 尚彦</u> , 村田 健児	2022.10
9	エストロゲンの添加が軟骨細胞の同化因子発現に及ぼす影響	共著	第27回日本基礎理学療法学会, 大阪 基礎理学療法学会(2436-6382)25巻Suppl.1 Page5	小島 拓真, 寺田 秀伸, 高須 千晴, 川端 空, 峯岸 雄基, 加納 拓馬, <u>金村 尚彦</u> , 村田 健児	2022.10
10	変形性膝関節症患者における膝関節受動特性変化の同定	共著	第27回日本基礎理学療法学会, 大阪 基礎理学療法学会(2436-6382)25巻Suppl.1 Page5	横山 萌香, 横山 光, 久保田 圭祐, 平田 恵介, 埜 大樹, 藤野 努, 宮澤 拓, 鬼塚 勝哉, <u>金村 尚彦</u>	2022.10

11	膝関節不安定性が脊髄神経機構に与える影響	共著	第27回日本基礎理学療法学会, 大阪 基礎理学療法学会 (2436-6382)25巻Suppl.1 Page5	金村 尚彦, 峯岸 雄基, 小曾根 海知, 加納 拓馬, 黒尾 彩, 岡 優一郎, 村田 健児, 森下 佑里, 国分 貴徳, 今北 英高	2022.10
----	----------------------	----	---	--	---------

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金 (基盤C)	靱帯損傷後における膝関節神経機能ネットワーク回復過程の解明.	研究代表者	2018.4-2023.3
2	文部科学省 科学研究費補助金 (萌芽)	光遺伝学的手法と運動療法を併用した末梢神経損傷後の新規治療戦略の創出	研究代表者	2022.7-2025.3
3	埼玉県立大学奨励研究費 (A)	前十字靱帯治癒過程における架橋形成と再血行化の関連性の解明およびACL治癒促進の治療法開発	研究代表者	2022.4-2023.3
4	埼玉県立大学奨励研究費 (科研費コース)	変形性膝関節症における軟骨保護作用因子の探索と臨床評価指標の開発	研究代表者	2022.4-2023.3

(4) その他

	名称	単・共	学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	「基礎-臨床」の融合と挑戦を科学する～バイオメカニクス～ バイオメカニクスとバイオロジーからみた変形性膝関節症の病態と理学療法への展開	単独	日本運動器理学療法学会 オンライン	金村 尚彦	2022.9

3. 教育業績

(1) 講義

	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	運動学入門	○	8	運動学入門の講義について, Webを介したビデオ教材を作成し, 学生が復習できる環境を設置した。
2	臨床運動学	○	30	動作分析や歩行分析における分析手法と運動学・運動力学的視点での分析方法と各疾患別の分析方法について実習を含めて解説した。
3	理学療法研究法		2	文献検索の方法や研究論文を読むために必要な統計学を解説した。
4	運動器理学療法チュートリアル		13	理学療法が対象とする運動器疾患についての評価や理学療法について実技を交えて解説した。
5	理学療法管理学		13	理学療法業務にあたり, 管理に関する事項や医療保健動向やカルテに関する解説を行った。
6	理学療法特別演習		2	国家試験対策問題の作成と講義を行った。
7	保健医療福祉学際英語		2	国際学会での学会発表におけるポイントについて, 事例を交えて講義を行った。
8	障害基礎解析学特論	○	8	理学療法研究における解析方法について, バイオメカニクスの手法から組織学, 分子生物学的分析方法の解説を行った。
9	理学療法症候障害論	○	4	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について解説した。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	理学療法基礎解析学演習	○	8	理学療法研究に関する分析方法, 組織学, 生化学分析の手法について開設を行った。
2	運動器障害理学療法実践チュートリアル	○	12	運動器疾患を想定した理学療法の評価から理学療法プログラムの立案と実践を行った。
3	機能診断学実習	○	27	運動器疾患に対する評価法について, 実技を行い, 実際の臨床における評価について, 実践を行った。

4	リハビリテーション学演習（障害基礎解析学）	○	8	理学療法研究における解析方法について、バイオメカニクス的手法から組織学、分子生物学的分析方法の実技を交えてや、最近の文献をもとに議論を行った。
5	理学療法症候障害論 演習	○	8	理学療法を対象としている疾患モデルや運動療法の効果検証の方法について英文誌の読み解く演習と議論を行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床教育実習Ⅰ		2週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。
2	臨床教育実習Ⅱ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。
3	臨床教育実習Ⅲ		8週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。
4	臨床教育実習Ⅳ		5週間	臨床実習学生を担当し、実習地訪問、学生レポート、実習内容の確認、発表会、個人指導を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4-2023.3	主指導 3名	副指導 0名
2	修士論文	2022.4-2023.3	主指導（指導教員） 3名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文	2022.4-2023.3	主指導（指導教員） 4名	副指導（指導補助教員） 0名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	春日部市立看護専門学校（非常勤講師）	2020.4-2023.3	人体の構造と機能に関する講義
2	藤リハビリテーション学院（非常勤講師）	2020.4-2023.3	脊髄損傷に対する理学療法の講義

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第3回日本ファシア会議	日本整形内科学会	座長	2022.10
2	シニアのやさしい運動講座	いきいき埼玉	講師 理学療法士から学ぶシニアのやさしい運動講座	2023.02

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	社団法人 日本理学療法士協会	編集委員会 委員	2021.4-現在に至る
2	埼玉県理学療法士協会 学会運営審議委員	学会運営審議委員	2020.4-現在に至る
4	社団法人 日本基礎理学療法学会	学会評議員	2021.7-現在に至る
5	専門リハビリテーション研究会	理事	2020.4-現在に至る
6	第12回日本運動器理学療法学会 準備委員会	副大会長	2022.7-現在に至る

(3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

(4) その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教育研究審議会	2021～2022年度
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学運営連絡会議	2021～2022年度
3	全学的委員会及びセンター業務等	研究評価委員会	2021～2022年度
4	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会	2021～2022年度
5	全学的委員会及びセンター業務等	大学院入試委員会	2021～2022年度
6	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験管理部会	2021～2022年度
7	全学的委員会及びセンター業務等	有害物質管理責任者（全学）	2021～2022年度
8	全学的委員会及びセンター業務等	実験動物室 管理者	2021～2022年度
9	全学的委員会及びセンター業務等	共同実験室 共通棟西105 管理責任者	2021～2022年度
10	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員会 動物実験部門	2021～2022年度

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		